


## 2. 各自治体における取組概要 | 伊勢市 (1 / 4)

### 【A. 取り組みの全体像】

1.自治体の概要							
	自治体名		伊勢市	担当部局名	健康福祉部 福祉生活相談センター	人口	121,770 (人) <令和4年12月末時点>
	自治体内連携	庁内連携部局	デジタル政策課、広報広聴課、市民交流課、環境課、健康課、高齢・障がい福祉課、生活支援課、子育て応援課、農林水産課、交通政策課、住宅政策課、社会教育課、商工労政課、職員課				
		庁内連携内容 ※会議体、情報共有	庁内各課に対し、関係する事業・NPO団体候補の情報提供を横断的に依頼したうえで、「伊勢市多分野協働プラットフォーム」(以下「PF」)を設立。PFでは情報共有を実施し、今後の方向性、支援事業の実施手法などについて議論				

### 2. 形成をめざす地方版連携PFの姿

<b>従前の取り組み</b> <small>※重層の取り組み、外部組織連携、地域コミュニティ形成等</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年4月より福祉生活相談センターを設置し、福祉に関する相談を総合的に受け止める体制を構築。伊勢市社会福祉協議会が運営する「生活サポートセンターあゆみ」や、NPO法人「いせコンビネット」などと連携し、重層的支援体制整備事業において就労支援等を実施してきた</li> </ul>		<b>実現したい状態</b> <small>※構築する仕組み／支援対象の住民を取り巻く環境</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>働きづらさを抱えた人を発見した際に、庁内はもちろん、庁外も含め連携し、適切な支援につながる状態</li> <li>働きづらさを抱えた人に対して、社会参加のきっかけづくりから就労までスモールステップかつオーダーメイドの支援が可能となっている状態</li> <li>庁内外の様々な機関が連携・協働し、孤独・孤立に係る様々な困難を抱えた人に分野横断的な支援を実施できる状態</li> </ul>
	調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度の民生委員等へのアンケート調査により、8050問題のある世帯は186件、ひきこもり状態にある人は130人把握</li> <li>コロナ禍における生活福祉資金の特例貸付の対象者を分析。30～50歳代の単身者が多く、背景は失業・休業が多かった</li> </ul>		
	構想・方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>複雑・複合化する生活課題等に対応するための分野横断的な多機関協働の形成</li> </ul>		
	体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉生活相談センターが中心となり、様々な相談を受け入れ</li> </ul>		
	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉生活相談センターにおいて総合相談を受けるほか、アウトリーチによる相談・LINEやメールでの相談にも対応</li> </ul>		
	評価・検証等	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度のアンケート調査で把握したケースについて、早期支援につなぐことを目的に民生委員等へ追加調査（電話等）を実施</li> </ul>		

### 3. 地方版連携PFにおける連携体制

<b>連携先支援団体名</b>	伊勢市社会福祉協議会、NPO法人いせコンビネット など		
選出・打診時の工夫	従前の関係性がある、働きづらさを抱えた人への支援が可能な団体を選出	協議体(既設/新設)	伊勢市多分野協働プラットフォーム(新設)
<b>支援団体との連携内容</b>	働きづらさを抱えた人に対する就労支援。(ひきこもりの人等、社会参加自体が難しい人が多くいる中で、居場所・職場見学・就労体験等をスモールステップで提供)		

### 4. PF連携による価値や工夫 考え方

<ul style="list-style-type: none"> <li>PFで取り組む要点を①周知・啓発②社会参加③就労支援とし、分野横断的な庁内外協働の新たな支援策の創出を目指す。一気に就労に至らずとも、支援者に寄り添い、社会参加・職場見学・就労体験をスモールステップで提供することを重視</li> <li>「障がい」「ひきこもり」といった既存の支援対象の枠組みを「働きづらさを抱えた人」へと広げ、支援を必要とする人が自ら声を上げやすくする環境を整備</li> <li>PF設立段階においては、就労支援に関する事業や連携可能なNPOについて庁内のあらゆる関係課がアイデアを出し合い情報を棚卸</li> </ul>
--

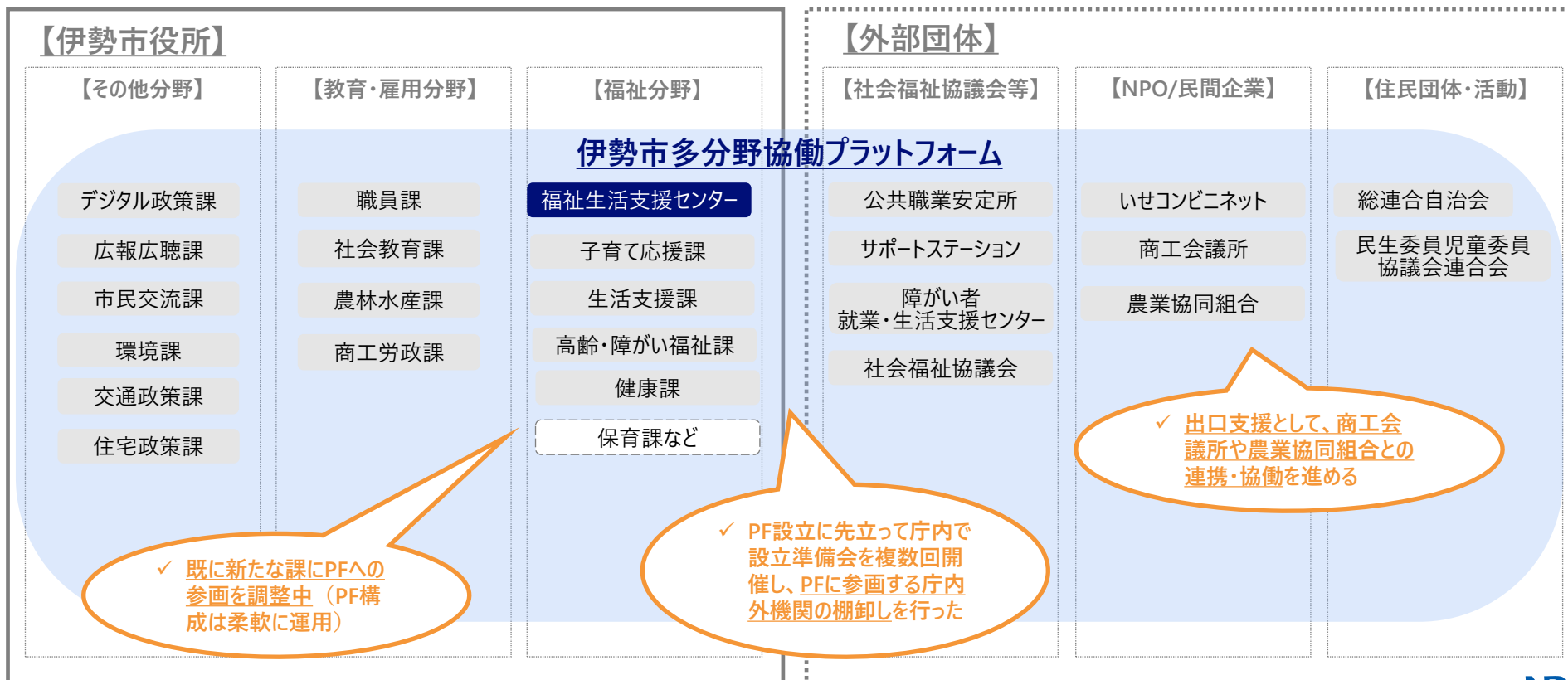
## 2. 各自治体における取組概要 | 伊勢市 (2 / 4)

### 【B.連携PFイメージ】



#### 多分野協働による分野横断的な支援の創出

- ✓ 周知・啓発：市民・関係機関・企業への周知
- ✓ 社会参加：気軽に集まることができる地域の居場所の充実
- ✓ 就労支援：一人ひとりに合わせたオーダーメイド支援



## 2. 各自治体における取組概要 | 伊勢市 (3 / 4)

### 【C. 試行的事業一覧】

#### 6. 本年度に取り組む試行的事業の概要

##### 試行的事業の ポイント・工夫

- PFに参画すべき団体・機関について、庁内のPF設立準備会で棚卸・整理したうえでPFを立ち上げることができ、孤独・孤立に関する相談先をまとめたサポートリストの作成や、啓発動画を作成することで、広く市民に周知し、必要な支援に早期につながる仕組みが出来た

事業名称	事業内容	目的／期待効果・KPI	実施時期	発注先 (予算)
1 サポートリストの 作成・製本・配 付	【事業概要】 孤独・孤立に関する相談窓口等をまとめたリストの作成 【制作物内容】 A4×8枚(表裏)のカラー印刷されたパンフレット 【部数・配付方法】 広報いせに併せて全戸配布 (約55,000部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が孤独・孤立に陥らないよう、支援が必要な人に必要な支援が届くような地域共生社会を実現する</li> </ul> <p>成果検証結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 相談件数、市HPへのアクセス数の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 令和5年1月初旬から2月下旬まで</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千巻印刷産業 (113万円)</li> </ul>
2 啓発動画の作 成・配信	【事業概要】 孤独・孤立に関する理解を深めるための啓発動画を作成し、YouTubeやケーブルテレビにて配信する 【制作物内容】 15秒、30秒の2パターンの動画 【配信媒体】 YouTube、ケーブルテレビ、SNS (Google、Instagram) 等で広告配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲の方も声をかけ、受け止めることのできる社会認識を醸成する</li> <li>孤独・孤立に関する理解を深め、企業や地域住民組織による新たな支援の構築・拡充につなげる</li> <li>市広報物に目を通さないような若年層にもアプローチする</li> </ul> <p>成果検証結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 相談件数、動画閲覧数、市HPへのアクセス数の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 令和5年1月初旬から2月下旬まで</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションサービス (172万円)</li> </ul>
3 PF設立記念 講演会の開催	【事業概要】 孤独・孤立対策やPFの意義を周知し、PF参加機関の理解度を高める 【内容】 山本室長による孤独・孤立対策の背景や意義について1時間程度講演 【参加者】 PF参加機関等の関係者約140名程度参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員やPF参加機関職員等の、孤独・孤立に関する理解・認識を深め、PFでの検討を踏まえた支援体制の構築につなげる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 令和5年1月31日 (火) 13:30～15:00</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊勢市が主体となって実施</li> </ul>

#### 7. 次年度以降に向けた事業等の案

※PDCAサイクルに照らして次年度以降に取り組んでいく事業イメージ (あれば) を例挙

- 福祉生活相談センターを、健康福祉ステーション (伊勢市駅前ビル) に移転し、利便性を高め、市民等が集まりやすい場として進化させるとともに、総合相談体制を強化する
- 働きづらさを抱えた人を対象とした「孤独・孤立対策推進事業」を新たに開始し、PFでの検討を踏まえたうえで、相談支援・社会参加・就労支援等を実施する

#### 8. 孤独・孤立対策を公表した際の反響

- 市長が定例記者会見で「PFの立ち上げ」「伊勢つながりサポートリスト」「啓発動画」の作成等を公表し、新聞 (伊勢・毎日) やYahoo!ニュース等のメディアで取り上げられた

## 2. 各自治体における取組概要 | 伊勢市 (4 / 4)

### [D.留意点]

